

経営体の概要

- ・所在地：大分県竹田市
- ・経営体名：(株)田んぼ屋のじり
- ・栽培作物・作付面積：水稻（飼料用米含）、大麦若葉、ミニトマト、にんにく・計約97ha
- ・従業員数：12名（令和6年3月現在）

導入技術

- ・圃場管理システム「アグリノート」（ウォーターセル（株））
- ・自動水門（ミハラス、ファーモ、水まわりくんゲートくん）
- ・収量コンバイン（ヤンマー（株）、井関農機（株））
- ・自動ガイダンス（（株）農業情報設計社）
- ・リモコン式草刈り機（（株）アテックス）

導入経緯

- 規模拡大が進み、農作業の効率化と従業員間でのほ場の情報共有が課題であった。
- ほ場管理の情報共有を目的に、2015年にほ場管理システム（アグリノート）を導入、2020年に効率的な圃場管理のために自動水門等を導入した。

取組の特徴・効果

【アグリノートの効果】

- アグリノートを導入し、ほ場の可視化と情報共有の作業指示の迅速化・栽培管理の容易化を達成。
- これにより栽培面積拡大の加速に繋がった。
（2014年：51ha→2023年：97ha）

【自動水門・リモコン式草刈り機等の効果】

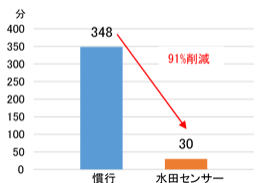
- 自動水門の導入により、ほ場での水管理の時間が9割削減された。
ただし、ゴミ詰まりやバッテリーの課題、不安定な電波状況のため正常な動作ができない場所もあり、今後はバッテリー含め耐用年数についての注意が必要。
- リモコン式草刈り機の導入では、作業時間が6割減少し、さらに疲労ストレスの軽減にも繋がった。
- 自動操舵システムでは、総作業時間の6%削減でき、オペレーターの負担は、大きく軽減された。

ほ場管理



自動水門

【水管理の時間削減】



自動操舵



リモコン草刈り機

